

雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

CRSを合言葉に額中第2期黄金時代を築きましょう



降雪、降雨で順延された額中校内マラソン大会 12月17日(木)



選手宣誓

今年から新しいコースとなり、どんなときも自己記録更新を目指して頑張ってきました。今日は、自分の記録に挑戦し、誰からも尊敬されるような粘り強い走り、ゴールを目指します。そして、全員がやりきったと笑顔で終え、CRSのマラソンになるように全力を尽くします。

令和2年12月17日

選手代表 体育委員長 ○



鍋を洗って、お汁粉の準備をするK先生、S先生



ライン引きをする体育部のT先生、M先生



お汁粉の準備をしてくださったPTA生活指導委員とK先生



新しいコースで、自己ベスト記録を目指し、全力を尽くした校内マラソン大会



運動場の保護者応援場所からの応援を受けて張り切っては走ろうとした生徒



令和2年12月17日(木)、額田中学校校内マラソン大会が、予定通りの時刻で開催されました。本年度からマラソンコースを変え、男子は約2.6km、女子は約1.8kmの距離にして、個人マラソンだけにしました。体育委員長のOくんの選手宣誓は、気合いが入っており、選手に勇気を与える感動的なものでした。10:35に1年生女子がスタートし、1年男子、2年女子、2年男子、3年女子、3年男子と順調に進んでいきました。保護者の皆様の応援も選手の力となり、校内マラソン大会を盛り上げました。

額田中学校 PTA 生活指導委員会の皆様のおかげで、おいしいお汁粉を食べることができました。お汁粉作りをする PTA 生活指導委員の皆様、お汁粉を食べる生徒の笑顔と、笑顔の花がたくさん咲きました。今後も額田中学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

生徒が、マラソン大会で使ったコーン、机など、しっかりと片づけました。お汁粉作りの鍋などは、H教頭先生、Y教頭先生、N先生、K先生、F先生らが所定の場所に片づけました。準備から片づけまでの間に多くの人の支えがあったことを忘れないでください。体育委員会の皆さんも準備で頑張ってくれました。

第3回PTA実行委員会の皆様に感謝

12月16日(水)19:00~20:00

第2回総合常任委員会は、令和3年1月20日(水)19:00 (於 額田中学校 図書室)開催予定



19:00~20:00 於 会議室

令和2年12月16日(水)、19:00から20:00まで、第3回額田中学校PTA実行委員会を実施しました。11月までのPTA活動の振り返りと今後のPTA活動の予定について確認しました。

令和2年度PTA実行委員会の皆様のご尽力で、令和2年度PTA活動が順調に進んでいます。令和3年度の地区委員の選出も順調に進んでいると聞きました。令和3年度PTA活動が円滑に進むようにご理解とご協力をお願いします。

教師の授業力向上のための研修

12月11日(金)特別の教科 道徳 授業研究

講師:石川 雅春 先生(西尾市立東部中学校長)



5時限2年2組 特別な教科 道徳 研究授業



講師の石川雅春先生の紹介

現在、三河教育研究会道徳部長、愛知県道徳教育研究会会長。5年前は愛知県教育委員会教職員課に勤務しており、その後、西尾市立西野町小学校長4年間、令和2年度に西尾市立東部中学校長となる。私が形埜小学校に勤務している頃、国語科授業研究の講師として招いた。国語科2年間と道徳5年間、指導員を務めた。私が新任で幡豆中学校に勤務している頃、一色中学校で活躍していた。この頃から石川先生と面識を深めた。吉良中学校で道徳研究発表会を推進し、道徳教育で実績を上げた。



校長室で研究協議会の準備をする石川雅春先生



教師もCRSで授業について議論する研究協議会



M先生が、2年2組で特別の教科 道徳の研究授業を公開しました。研究理論と実践をどうつなぐのかを学ぶために、全職員が小集団での生徒の学びを記録し、授業後の研究協議会に生かそうと真剣に授業分析をしました。

授業後の研究協議会で、講師の石川雅春先生から、次のことをご指導いただきました。

- ・ CRS (小集団での学び) による額田中学校の研究授業を参観して、生徒の輝き、主体的な取り組み、全員で追究する姿に感動しました。CRSの場面で、生徒の集中力、考え議論する追究力に驚かされました。
- ・ 「学びに向かう力」を発揮する生徒を育成するために、C (Catch)、R (Response)、S (String) のCRSを有効に活用していました。S (つなぐ) の方法として、小集団と小集団を動かすことで、学びに向かう力を発揮する生徒の育成につながっていました。
- ・ M先生が、ホワイトボードに自分の考えを明記させ、それをCatchして、小集団へ適切なResponseをしていました。M先生のCRで、生徒が学びに向かうに力を発揮し続けたと思います。
- ・ 道徳教育、そして、道徳の目標は、「道徳性を養う」ことです。道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり、道徳教育は道徳性を構成する諸様相である道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲と態度を養うことを求めています。
- ・ 道徳の指導方法は、教材とねらいと実態をセットで考えることが大切です。「自分だったら」と考えさせるとよい。
- ・ 教材中の主人公と自分自身との差を感じることは、道徳において最も大切なことの一つです。
- ・ 国語科は、「どこに」にその根拠があるのかを考えることが大切です。道徳は、「この文」から、自分だったらどう考えるかを議論することが大切です。国語科と道徳の違いを意識して授業展開を工夫していきたいです。